

## ツグミ

**Amami thrush / *Zoothera major* / Otoratsugumi / オオトラツグミ**  
体長 30cm にもなる大型ツグミのオオトラツグミは、奄美大島とその南にある加計呂麻島のみ生息し、絶滅危惧種に指定されている。頭と胴体は淡いオリーブがかった茶色に頭、背、胸、と腹に濃い帯状の模様がある。餌を狩る時のオオトラツグミの歩行は奇妙で、動きはチドリに近く、素早く駆け出した後、周辺を聞かため急に止まる。複雑な鳴き声は心地よく、朝の森でよく聞かれる。一時期は日本で最も絶滅の恐れがあった鳥類であったが、森林再生により数が回復した。

**Pale thrush / *Turdus pallidus* / Shirohara / シロハラ**  
このツグミはユーラシア大陸から冬を過ごすため奄美大島に群れで渡るが、越冬するため以外は単独か小さな群れで見られる。頭部は灰色で、体はくすんだ茶色、胸と腹は薄い茶色である。他のツグミ同様に虫、ミズ、木の実や種子を地上や木の中で捕食する。